

⑫ 公開実用新案公報 (U)

平 1-137624

⑬ Int. Cl. 4

H 03 H 9/25

識別記号

庁内整理番号

D-8425-5 J

⑭ 公開 平成 1 年 (1989) 9 月 20 日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 2 頁)

⑮ 考案の名称 弾性表面波デバイス

⑯ 実 願 昭 63-34928

⑰ 出 願 昭 63 (1988) 3 月 15 日

⑱ 考 案 者 山 田 弘 通 京都府長岡京市天神 2 丁目 26 番 10 号 株式会社村田製作所 内

⑲ 出 願 人 株式会社村田製作所 京都府長岡京市天神 2 丁目 26 番 10 号

⑳ 代 理 人 弁理士 森 下 武 一

㉑ 実用新案登録請求の範囲

基板表面に入力側電極と出力側電極を設けてなる弾性表面波デバイスにおいて、

前記基板底面に略菱形をなす格子状の溝を、該格子の一方の対角線が表面波の伝搬方向と略一致する様に設け、

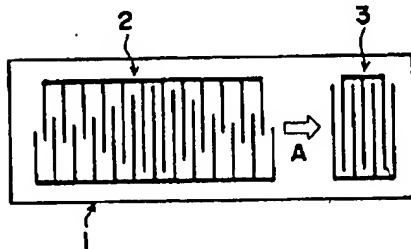
前記対角線寸法 W と溝の深さ D と基板の厚さ T と入出力電極の実質中心間距離 L とが、 $(T/D) \leq (L/W)$ の関係を満足すること、
を特徴とする弾性表面波デバイス。

図面の簡単な説明

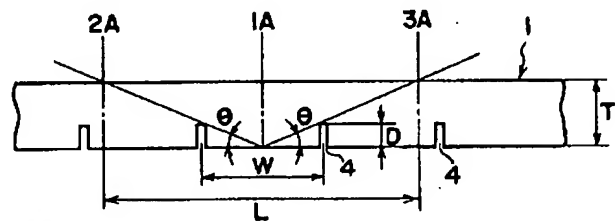
第 1 図ないし第 4 図は本考案に係る弾性表面波デバイスの一実施例を示し、第 1 図は平面図、第 2 図は基板底面に形成された溝の条件式を説明するための断面図、第 3 図は底面図、第 4 図は周波数特性を示すグラフである。第 5 図は比較例の周波数特性を示すグラフである。

1…基板、2、3…電極、4…溝、A…表面波伝搬方向。

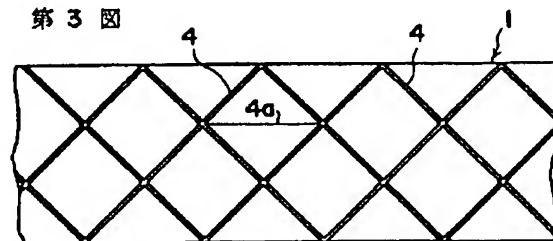
第 1 図



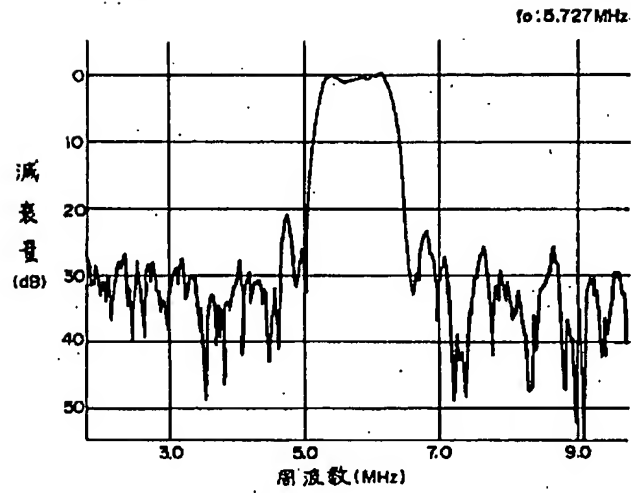
第 2 図



第 3 図



第4図



第5図

